

「教材の系統を重視した算数授業づくり講座」紹介（算数・数学科）

1 講座の目的

確かな学力を育成するため、指導内容の系統性をふまえた1単位時間の授業づくりの研修を行い、日常の授業力を高める。

2 開催地及び実施日、参加人数

県北・県中・県南地区（須賀川アリーナ）... 7月4日（水）：31名
 会津・南会津地区（本郷公民館）... 7月2日（月）：10名
 相 双 地 区（南相馬合同庁舎）... 7月6日（金）：7名

3 講師

県北・県中・県南地区... 県中教育事務所 指導主事：渡辺 惣吾 先生
 県南教育事務所 指導主事：佐藤 雅義 先生
 会津・南会津地区... 会津教育事務所 指導主事：石田 秀喜 先生
 相 双 地 区... 相双教育事務所 指導主事：佐藤 博 先生

4 講座の概要

(1) 講義「算数科における学力の現状と課題」

今求められている算数授業改善のポイントをふまえ、子どもたちの学力の現状と数量関係領域「比べる」の系統性・関連性について確認しました。

(2) 講話「数量関係領域におけるわたしの授業構想とその実践」

すぐれた実践から、数量関係領域における授業構想を学びました。

県北・県中・県南地区... 白河市立白河第一小学校：仁科 英俊 先生
 会津・南会津地区... 只見町立只見小学校：岩淵 邦雄 先生
 相 双 地 区... 相双教育事務所：佐藤 博 先生

(3) 演習・協議「教材解釈・指導内容の理解を深める教材研究」

担当学年の「倍(ばい)」に関する1単位時間の学習指導案を基に、学年ごとの班で授業構想を紹介しました。

班内で以下の観点で協議し、授業を再検討しました。

ア 本時の学習の中心はどこか。そこで、どのような学習がなされるか
イ めあて・まとめは、本時のねらいを達成させるものとなっているか。
ウ 本時に獲得する学習内容は、次にどんな学習の基になるのか。等

班代表者による発表を通して、本時の系統性や関連性等、指導内容についての理解を深めました。

(4) まとめ「算数科における確かな学力の向上を目指して」

本研修のまとめとして、数量関係領域学習のつながりでは、小・中の系統性や関連性について確認したり、各教育事務所指導主事からご指導いただいたりして、確かな学力の向上を図るための授業改善の視点を共有しました。

5 研修者の感想

小学校1年から6年、そして中学校への指導内容の系統性や関連性を改めて確認することができ、それを踏まえて授業を進めていくことが重要であることを学ぶことができました。

学年を越えて教科書を読むことの大切さがよく分かりました。単元構想全体を見通しながら1時間1時間の授業を大切にしていきたいと思えます。

系統性を考えて授業をする重要さに改めて気付きました。教科書の分析とともに、学年間のつながりを大切にしたいと思えます。

ちがひ (差)	1年	ながさをくらべましょう	いくつぶんのがさですか	7	どちらながい
ばい (倍)	2年	ばいとかけ算	11	九九をつくろう	
	3年	何倍かをもとめる計算	3	新しい計算を考えよう	
	4年	倍の計算	3	わり算のしかたを考えよう	
	5年	小数の倍	2	小数のかけ算とわり算を考えよう	
	5年	小数の倍とかけ算	7	小数のかけ算を考えよう	
	5年	小数の倍とわり算	8	小数のわり算を考えよう	
	5年	分数の倍	12	分数をくわしく調べよう	
	6年	分数の倍とかけ算・わり算	7	分数のかけ算とわり算を考えよう	
	5年	割合	13	比べ方を考えよう	
	6年	比	11	割合の表し方を考えよう	
6年	比例	12	変わり方を調べよう		

基準量
・1つ分の大きさ
・もとの大きさ(量)
・1とみる大きさ